

(問) 県は1兆円も借金しているのに本当に返せるのですか？

(答) 県の借金返済も各家庭と同様、他の支出を削ってでも最優先で行わなければならないものです。

しかし、返済額が増えれば、産業振興や教育の充実等に回せる予算が少なくなるので、今後、出来るだけ県債を増やさないように努力していきます。

(参考)

扶助費や人件費の義務的な経費以外の予算をすべて借金の返済に振り向けた場合、何年で今の借金残額を返済できるかという「債務償還可能年限」という考え方があります。

国債、地方債、企業の社債などの格付け機関が格付けを行う際に一部活用しているようですが、借金額(県債残高)の返済能力に対する重さを量るとも言われています。

平成18年度決算値から算出しますと、都道府県の中で熊本県は、ほぼ中位となっています。

都道府県	債務償還可能年数	順位	都道府県	債務償還可能年数	順位
北海道	10.4	37	滋賀県	9.4	28
青森県	9.0	21	京都府	12.1	46
岩手県	9.6	31	大阪府	12.0	45
宮城県	10.3	36	兵庫県	13.7	47
秋田県	9.2	25	奈良県	10.0	35
山形県	9.6	30	和歌山県	7.5	7
福島県	7.8	10	鳥取県	7.5	6
茨城県	10.8	41	島根県	8.0	13
栃木県	6.9	3	岡山県	10.5	38
群馬県	7.6	8	広島県	9.9	34
埼玉県	9.6	29	山口県	8.6	17
千葉県	11.4	44	徳島県	9.7	32
東京都	4.0	1	香川県	9.4	27
神奈川県	11.3	43	愛媛県	7.2	5
新潟県	10.6	39	高知県	8.2	14
富山県	8.9	19	福岡県	11.2	42
石川県	9.3	26	佐賀県	6.7	2
福井県	8.4	16	長崎県	9.7	33
山梨県	9.0	20	熊本県	9.1	22
長野県	7.7	9	大分県	8.4	15
岐阜県	8.7	18	宮崎県	8.0	12
静岡県	9.2	23	鹿児島県	10.7	40
愛知県	9.2	24	沖縄県	7.2	4
三重県	7.9	11			

【算出の方法】

$$* \text{債務償還可能年限} = \frac{\text{純負債額}}{\text{償還財源}}$$

$$\text{償還財源} = \text{歳入} (\text{経常一般財源等} + \text{減税補てん債} + \text{臨時財政対策債}) - \text{歳出} (\text{経常経費充当一般財源} - \text{元利償還金})$$

$$\text{純負債額} = \text{地方債残高} - \text{財政調整基金残高} - \text{減債基金残高}$$